平成29年度事業報告

1. 概　況

平成29年度新宿区シルバー人材センター事業（以下「センター事業」という。）は、「新宿区シルバー人材センター第三次経営計画」（以下「経営計画」という。）（平成27～29年度）の3年度目にあたり、前年度に引き続き「会員の拡充と資質の向上」「就業機会の確保・拡充」「安全管理と適正就業の推進」を重点3項目とし、事業計画に即し、新宿区はじめ関係機関の協力を得ながら実施してきました。

平成29年度の契約金額の総額は、約6億9千8百万円で、前年度比で約7百万円、1%の増となりました。最低賃金の引き上げが続いたこともありますが、堅調な受注実績を残すことができました。受託件数も13,649件で、前年度比で611件の増となり、過去最高を更新しています。

一方、当センターの会員数は、178名の入会者があったものの280名が退会したため、前年度より102名減って1,628名となりました。背景としては、日本経済が回復基調にあることや、多くの企業が定年の延長や65歳を越えての雇用継続に乗り出していることなどが考えられます。このため、平成29年度は都営バス車内に会員募集広告を掲出するなど、センターのPRと会員募集に努めましたが、30年度も新たに効果的かつ効率的なPR活動を積極的に行ってまいります。

シルバー派遣事業は、会員に多様な働く機会を提供するための新たな事業です。これまで、先駆的なシルバー人材センターから情報収集を行ってまいりましたが、30年度は事業開始に向けた準備を行ってまいります。

安全就業については、7月を安全就業月間として、安全大会や各種講座で交通事故防止の啓発を行うとともに、悪徳商法被害防止についての注意を促しました。この年度は就業中に重篤な事故は起きなかったものの、傷害事故は前年度と同じ14件でした。特に、就業途上を含めて転倒事故が相次いだため、30年度は転倒予防の啓発に重点的に取り組みます。

平成28年に開始した「生活援助サービス」事業は、新宿区等と連携し地域の高齢者を地域で支える仕組みの一つとして実施した結果、受託件数及び契約金額とも、昨年度に比べ2倍強となり着実な成果を挙げることができました。今後も益々需要が増えると予想されるため、会員増強にも努めて、区民の付託に応えてまいります。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、自主事業の一つとして昨年6月から「ここ・から英会話」を開始しましたが、予想を上回る55名の方に受講していただきました。

最後になりますが、この度、今後の経済・社会情勢の変化や超高齢社会への進展を見据えた、「センターの魅力度アップ・認知度向上」を基本方針とした第四次経営計画（2018年度～2020年度）」を策定しました。この計画では、シルバー人材センターの事業内容を広く区民や事業者に認識していただき利用していただくための周知活動の強化や、会員の拡大と資質の向上等に取り組んでまいります。

以下、平成29年度の各事業の実施結果について、報告いたします。

2. 会員の拡充

平成30年3月31日現在の会員数は1,628人で、前年度に比べ102人、5.9%の減少でした。平均年齢は、男性74.9歳、女性74.4歳、全体では74.7歳で、会員の最高年齢は95歳でした。また、60歳以上の新宿区民に対する加入率は、男性が2.6%、女性は1.5%、全体で2.1%でした。

主な入会経路は、区報24.7%、会員経由15.2%、知人経由13%、センターパンフレット9%、区の紹介7.9%でした。

会員	29年度			28年度			差　引		
	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末
男(人)	92	159	962	105	132	1,029	△13	27	△67
女(人)	86	121	666	78	80	701	8	41	△35
計(人)	178	280	1,628	183	212	1,730	△5	68	△102

3. 会員として必要な知識及び技能の修得

区　分	研　修　内　容	実施回数	受講者数
センター研修	新入会員研修(接遇力向上研修)	21回	176名
	家事援助調理研修	10回	75名
	家事援助接遇研修	2回	35名
	生活援助員研修（新宿区主催）	5回	38名
	高齢者見守り支え合い連絡会	6回	16名
	職群別悉皆研修	1回	81名
第3ブロック合同研修 中野区・杉並区 板橋区・豊島区 練馬区・新宿区	代表理事等研修 「就業開拓の現状・課題と今後の取組みについて」	1回	3名
	理事等役員研修「就業開拓の重要性」	1回	17名
	安全就業研修「安全就業の推進等」	1回	9名
	グループリーダー研修 「ベテラン会員にみられるトラブル防止と接遇力の向上」	1回	5名

4. 就業機会の確保

(1) 就業実績

項　目	29年度	28年度	差　引	増　減　率
年度末会員数(人)	1,628	1,730	△102	△5.9%
就業実人員（人）	1,254	1,254	0	0.0%
就業率（%）	77.0%	72.5%	4.5ﾎﾟｲﾝﾄ	

(2) 就業相談

平成29年度の入会説明会参加者は229名、登録会員数は178名で入会率は77.7%でした。

相談会名	実施回数	参加者数
新入会員説明会	21回	229名
一斉就業相談会	7回	47名
出張相談会（10か所）	59回	230名

(3) 就業開拓

① 平成28年4月から開始した生活援助サービス事業では、事業概要説明、生活援助員研修（新宿区主催）及び生活援助サービス就業会員事業説明会を各 5 回開催し、37名の就業希望会員を得ました。

② シルバー困り事お手伝い事業の実績　　86件　120,000円

③ シルバー派遣事業は、平成31年度実施を目指して検討。

派遣元責任者講習受講　　職員2名

派遣事業実施のセンター2か所を視察　　職員延4名

(4) 自主事業

2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、平成29年6月から初心者向けの英会話教室「ここ・から英会話」を開講しました。

平成29年度は手作りショップ・ふれあい以外の実績は減額となりました。

（単位：円）

項　目	29年度	28年度	差　引	増減率
パソコン教室	1,119,000	1,665,500	△546,500	△32.8%
書道教室	1,184,000	1,304,000	△120,000	△9.2%
手編み教室	588,000	596,000	△8,000	△1.3%
ここ・から英会話	1,566,826	—	—	—
らくらくリフォームウェア	3,983,818	4,314,296	△330,478	△7.7%
手作りショップ・ふれあい	1,462,010	1,427,720	34,290	2.4%
包丁研ぎ	57,390	78,250	△20,860	△26.7%
合　計	9,961,044	9,385,766	575,278	6.1%

5. 事業実績

(1) 前年度と比べると、受託件数で4.7%の増、契約金額で1.0%の増でした。契約金額の職群別の比較では、サービス群2.1%、管理群1.2%、一般作業群が1.1%の増で、折衝外交群17%、事務整理群9.4%、技能群は2.6%の減でした。

事業別	受託件数（件）				契約金額（円）			
	29 年度	28 年度	差引	増減率	29 年度	28 年度	差引	増減率
公共事業	279	271	8	3.0%	303,793,156	297,888,375	5,904,781	2.0%
民間事業計	13,370	12,767	603	4.7%	394,762,535	394,055,862	706,673	0.2%
企業	5,580	5,303	277	5.2%	296,535,592	295,358,477	1,177,115	0.4%
家庭	7,715	7,396	319	4.3%	88,265,899	89,311,619	△1,045,720	△1.2%
独自	75	68	7	10.3%	9,961,044	9,385,766	575,278	6.1%
合　計	13,649	13,038	611	4.7%	698,555,691	691,944,237	6,611,454	1.0%

受託件数は、1 契約で 12 ヶ月請求した数

(2) 家事援助・育児支援サービス事業は、前年度と比べると、受託件数で 1.0%の増、契約金額で 0.5%の減でした。

また生活援助サービス事業については、受託件数で 4.9%の増、契約金額で 28.3%の増でした。

	家事援助・育児支援サービス				生活援助サービス			
	29 年度	28 年度	差引	増減率	29 年度	28 年度	差引	増減率
受託件数（件）	3,573	3,539	34	1.0	670	327	343	104.9
就業実人員（人）	174	189	△15	△7.9	52	36	16	44.4
就業延人員（人）	16,739	16,593	146	0.9	480	259	221	85.3
契約金額（千円）	47,235	47,467	△232	△0.5	3,833	1,679	2,154	128.3

6. 適正就業

(1) シルバー人材センターにおける適正就業の徹底を図るため、就業開拓専門員による仕事内容確認及び就業現場の巡回を行うとともに、発注者や会員のセンター事業に対する理解促進に努めました。

(2) 公平な就業機会の提供のため、ローテーション就業やワークシェアリングを推進しました。

(3) 平成 29 年度東京都最低賃金改正（932 円→958 円）に伴う配分金単価の改定

①植木の剪定　(1 回あたり)11,550 円→12,320 円

②除草作業　　(1 時間あたり)1,070 円→1,177 円

③家事援助・育児支援サービス　(1 回あたり 2 時間以内)2,140 円→2,354 円

7. 安全就業

(1) 安全活動実施状況

7 月を「安全就業強化月間」と定め、安全大会を開催するとともに、安全就業パトロールを実施し、傷害事故、損害賠償事故の防止、また安全就業や会員の健康に関する講習会を開催するなど、安全就業活動を実施しました。

項目・テーマ	実施回数	講師等	実施場所等	参加者数
ヒヤリ・ハット実験講座	1 回	消費者啓発員	シルバー人材センター	23 名
悪徳商法被害防止講話	1 回	消費者啓発員	シルバー人材センター	17 名
健康体操講習会 （シニアエアロビクス）	3 回	ダイヤビック ひばり会	シルバー人材センター	76 名
植木用機材の定期点検	12 回	はしご等の点検	シルバー人材センター	12 名
安全就業だより発行	12 回	事務局	全会員	—
安全就業意識調査	1 回	安全委員会	平成 29 年 9 月就業会員	対象 1,100 名 回答 860 名
平成 30 年度安全就業標語募集・選定	1 回	安全委員会	「焦らない 心準備で　余裕もて」及び 「溜め込むな　疲労回復　自己管理」	応募者 13 名 作品 28 点
安全大会の開催 （交通安全・振込め詐欺の講話）	1 回	牛込警察署員	新宿文化センター	112 名

(2) 安全就業パトロール

安全委員会委員による安全就業パトロールを、新規契約、パトロール未実施、及び都内シルバーで重篤事故が発生している植木作業の現場を中心に実施し、事故防止に努めました。

パトロールした 49 件で安全意識、服装・保護具、作業環境、作業用具等、共同作業、緊急時対応、健康管理の 7 項目の安全就業チェックを行った結果、「良い」の比率が 97.3%とほぼ問題はなく、平成 28 年度と比べて 8.5 ポイント改善されました。

(3) シルバー保険

項　　目		29 年度	28 年度	差　引
傷害事故　計		14	14	0
	就業中	9	9	0
	就業途上	5	5	0
損害賠償責任事故		4	1	3
合　　計		18	15	3

8. 周知活動

(1) 普及啓発活動等実施状況

Ｐ　Ｒ　方　法	実　施　内　容	実施回数
会報の発行	広報紙「まあるい」の発行・全会員等に配付	4 回
機関紙の発行	「事務局だより」の発行・全会員配付	12 回
区広報の活用	「広報しんじゅく」に入会募集及び受講生募集等掲載	15 回
ホームページの活用	センター事業等の周知及び受注状況一覧	常時
ポスター掲示	ポスターを区施設・町会掲示板に掲示（1,503 部）	5～7 月

パンフレットの作成	シルバー事業全般に関する総合案内パンフレット及び単価表・困り事お手伝い事業チラシ・家事援助チラシを増刷	2 回
リーフレット パンフレットの配布	イベント会場等でセンターのＰＲ、受注案内、会員募集の資料配布	随時
チラシ配布	手づくりショップ・ふれあい、らくらくリフォームウェア、パソコン教室、家事援助・困り事お手伝い等チラシを配布	随時
就業開拓訪問活動	企業や町会等の地域関係者を訪問し、ＰＲ、受注案内を実施、またポスティングも実施　　29,482 部	297 事業所 196 町会等
ボランティアお便り	ボランティア事業（活動）の紹介　発行・全会員に配布	6 回
都バス車内広告	バス車内に会員募集広告を掲示 （小滝橋営業所発、渋谷営業所新宿支所発）	4～3 月
郵便局 ポスター・チラシ掲出	会員募集ポスター及びチラシを区内郵便局（3 局）へ掲出	3 局
玄関前掲示板掲出	自主事業チラシ、作品掲出及びチラシ入れの活用	4～3 月
車両ラッピング広告	動く広告塔としてセンター周知・ＰＲを実施	4～3 月

(2) イベントへの参加状況

項　　目	参加年月日	参加場所
神楽坂青空フェスタ	5 月 21 日、10 月 1 日	神楽坂商店街
落二地域センター開館記念	6 月 18、19 日	落合第二地域センター
西早稲田リサイクルまつり	6 月 11 日	西早稲田リサイクル活動センター
スポレク 2017	10 月 9 日	新宿区スポーツセンター
新宿区ふれあいフェスタ	10 月 15 日	都立戸山公園
榎町地域センターまつり	10 月 22 日	榎町地域センター
アトムフェスタ	11 月 5 日	新宿リサイクル活動センター
牛込箪笥地域センターまつり	平成 30 年 1 月 21 日	牛込箪笥地域センター
落合第一地域センターまつり	平成 30 年 3 月 10 日	落合第一地域センター
四谷ふれあい祭	平成 30 年 3 月 25 日	四谷地域センター

9. 地域社会への貢献活動

ボランティア活動参加実人数は 295 名で前年度と比べると 51 名の減少、参加延人数は 1,570 名で前年度と比べると 141 名の増加でした。

項　目	実施回数	参加者	備　考
ごみゼロ運動	13 回	107 名	春 7 地区・秋 6 地区
お手玉作り	12 回	81 名	―
防犯パトロール	22 回	127 名	小学校・公園周辺等
東京マラソン祭り 2018	1 回	18 名	防衛省前沿道の観客 誘導案内
新宿シティハーフマラソン	1 回	27 名	沿道の案内及び・給水
ペットボトルキャップ収集ボランティア	随時	546 名	478,375 個

使用済み切手収集	随時	76 名	区社会福祉協議会へ寄付
センター周辺の道路清掃	12 回	53 名	ここ・から広場前 大久保通り歩道など
落合第二地区地域班による 道路美化清掃	9 回	116 名	落合第二特別出張所 周辺の道路清掃
四谷地区地域班による 道路美化清掃	9 回	39 名	新宿通り沿い（四谷 1～2 丁目）の道路清掃
戸塚地区地域班による 道路美化清掃	9 回	47 名	高田馬場駅前ロータリー周辺の道路清掃
ボランティア強化月間事業 ここ・からまつり防犯パトロール	1 回	5 名	ここから広場周辺の防犯パトロール
ここ・からまつり お手玉体験ボランティア	1 回	250 名	ここから広場多目的運動広場で実施
新宿年末クリーン大作戦	1 回	12 名	新宿駅周辺の道路清掃
新宿打ち水大作戦	1 回	17 名	高田馬場駅前ロータリー
放置自転車 クリーンキャンペーン	1 回	3 名	高田馬場駅前ロータリー
ポイ捨て防止 路上喫煙禁止キャンペーン	9 回	47 名	高田馬場駅前ロータリー
囲碁を教えるボランティア	3 回	12 名	交流のひろば開催時

第 7 回ここ・からまつり実施状況

実施日時	11 月 12 日（日）　午前 10 時～午後 3 時　晴れ
出展団体及び実施概要	4 委員会・6 自主事業・2 職群班・1 地域班・親睦会など 14 グループによる展示、相談、体験コーナー、無料体験コーナー、輪投げ、模擬店と茶席及びおもちゃ病院
参加者数	来場者 3,210 名、会員・職員等 182 名

※第 7 回ここ・からまつりの焼きそば、お汁粉、お茶処、喫茶コーナー及び苔玉盆栽の売上金 211,100 円は、新宿区社会福祉協議会に寄付しました。

10. センター運営等への会員参画

定時総会 （新宿文化センター大ホール）	6 月 22 日(木)	参加者 1,082 名

項　目	規模等
理事会	定例 12 回・臨時 3 回
理事及び監事推薦委員会	1 回
総務委員会	6 回
事業委員会	6 回
広報委員会	8 回

社会参画委員会	8 回
安全委員会	11 回
家事援助・育児支援事業分科会	4 回
自主事業運営分科会	6 回
世話役会議	1 回
班長会議	2 回

11．事務局

（1）事務局だより等の活用によりセンター事業に関する情報提供に努めました。

（2）経費の節減及び効率的な経営に努めました。

（3）事務局長 1 名、次長 1 名、正規職員 6 名、嘱託職員 8 名、臨時職員 8 名。

事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」及び「定款第 40 条第 1 項第 2 号」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人新宿区シルバー人材センター　会長　吉　良　宮　子